

会長	三浦秀巳	(三輪小学校)
副会長	藤原和彦	(雄勝小学校)
研究部長	池田亜紀	(稲川小学校)
事業部長	大沼護	(山田中学校)
監事	池田亜紀	(稲川小学校)
会計	高橋香理	(湯沢南中学校)
事務局長	仙道真理子	(湯沢南中学校)
事務局	鈴木陽	(雄勝小学校)

夏季研修会 (三輪小学校) 令和5年8月8日 (火)

◆ 実践発表

「造形遊びの授業について」発表者：井上 晴子先生

◆ 東北大会について

概要説明・役割分担

秋田県児童生徒美術展地区審査 (三関地区センター)

令和5年11月20日 (月)

会誌「このゆびとまれ VOL. 23」

製本 (湯沢西小学校)

令和6年2月8日 (木)

○ 夏季研修会

- ・今年度の夏の県造形セミナーで発表された井上先生の実践を紹介してもらった。子ども達が身近な材料を使い、感性を働かせながら遊ぶことのできる実践例について、造形遊びのポイントを押さえながら材料の準備や導入、展開、子ども同士の関わる様子など分かりやすく伝えていただいた。井上先生の実践には手軽にできる工夫が随所であり、身近にある紙を使った造形遊びの演習に参加者も思わず夢中になった。もっとやりたい、子ども達にもやらせてみたいと思う楽しい発表だった。

夏季研修会



○ 第64回秋田県児童生徒美術展地区審査

- ・総出品数223点【小学校138点・中学校85点】のうち、68点【小学校42点 (平面のみ)・中学校26点 (平面20点、立体6点)】を本郡市の入賞作品として選出した。以下に今年度の審査講評からの特記事項を抜粋する。

(低学年) 色や形よりも「知ってる!」「好き!」という児童の興味・関心や体験を上手に引き出して表現させたい。導入で、児童が自分の物語を思い描けるようにしたい。

(中学年) 想像したものを描く作品であっても、ある程度のデッサン力が必要である。じっくり見て丁寧に描く経験も大切にしたい。描きたいものへの思いがはっきり伝わり、オリジナリティがある作品が選出された。

(高学年) 細かい物をたくさん描き混んだ作品が多いが、木や草の描き方が単調になっていた。葉っぱ一枚一枚の重なり、色の重なりなどを意識させたい。

(中学校) 3年生で取り組む自画像では、主題をどう表現方法に落とし込むかを追求させたい。写真の取り扱いと技能の関係については教材研究で吟味したい。

